

2020 年度近畿本部化学部会活動報告と 2021 年度計画（案）

近畿本部化学部会長 伊藤雄二

1. 2020 年度活動報告

昨年度は、感染症拡大に伴う活動自粛にともない、総会は書面開催とさせていただきました。今年度は、関係各位のご協力を得て、TW（テレワーク）式併用型の総会を開催することができました。ここに関係各位に感謝いたします。

感染症収束に向けた化学技術力の発揮を活動方針にして、感染症対策（第 1 号から第 7 号発行）、TW要領書の作成・改訂（第 10 版）、本テーマでの講演会、出席者全員への抗ウイルスマスクの実用テスト品の提供、真冬期の近畿本部内での空間除菌薬の設置などに取り組み、講演会・勉強会の再開に繋がりました。

主な事業活動であるCPD講演会・見学会の開催は、開催回数は3回と計画より3回減少（見学会2回分見合わせ、2組織合同の延期）し、参加者数は55名（昨年比24名減）し、TW率は全員出席の合同講演分を除いて60%でした。

協賛団体（3団体）様のご協力のもとで2018年度に立ち上げた化学装置に係る設備管理の勉強会（c-SKG会）は、TW併用式の実用化に伴い、計画通り年4回の開催ができ、参加者数は43名（昨年比14名増）、TW率53%でした。

化学物質管理研究会近畿支部（化学部会協力）でのweb勉強会（統括本部主催行事）は、10月から再開をして、下期分は計画通りに実施ができました。近畿本部会議室への出席者数は計11名（開催数3回）でした。

講演会、勉強会の総参加者数は109名（昨年比27名減）となりました。

幹事会の取組みは、部会活動の充実を図る活動方針のもとに、

1) 部会事業の充実に向け企画・運営を強化

企画では、TW式に対応する幹事の役割分担の改変と幹事手当の創設
会計では、キャッシュレス化に向けて、ネットバンキングの普及
一般会計口座のほかに、勉強会専用の特別会計口座の設置
報告では、統括本部制定の自己監査チェックシート（別紙）の活用

2) 協会・団体に発信し社会貢献に寄与

感染症収束に向けた技術力が期待できる団体への講師派遣の要請
「web見学会」の開催に向けて実施の期待ができる団体への技術支援

3) 近畿本部等と連携し部会の基盤を充実

近畿本部協賛団体強化特別セミナーに、担当講師2名を推挙
同活性化委員会開業セミナーに、担当講師2名（昨年比1名増）推挙
同地域連携委員会の講師派遣要請に、担当講師1名が応募・採用

2. 2021年度活動方針（案）

- ・ 部会事業の充実に向け企画・運営を強化
- ・ 協会・団体等に発信し社会貢献に寄与
- ・ 近畿本部等と連携し部会の基盤を充実
- ・ 講演企画テーマ
 - * 感染症収束に向けた化学技術力の発揮（継続）
 - * 物質エネルギーへの化学技術力の発信（新規）

3. 2021年度会計（審議）

- ・ 会計：一般会計報告（案）、特別会計報告（案）（監査意見）

4. 2021年度幹事会メンバー一覧（審議）（+は2021年度）

- ・ 伊藤雄二 部会長（兼）会計幹事
近畿本部幹事、統括本部化学部会幹事
- ・ 藤橋雅尚 報告・監修担当
- ・ 伊藤博 企画担当
- ・ 和田信之 企画コーディネーター（兼）副会計幹事
- ・ 久保田正博 企画担当
- ・ 橋本隆幸 報告・監修担当
- ・ 齋藤俊 企画担当
- ・ 高岡直樹 企画担当 + 会計幹事補佐
- ・ 末利鍬意 特別顧問
- ・ 末吉俊信 顧問 + 業務監査
- ・ 喜多雅巳 会計監査

以 上